

《目次》

はじめに 1
詩と写真 広島風化 4

これからの原水禁運動へのメッセージ 8
核の脅威から逃れる道は核兵器の廃絶しかない 14

原水禁運動の歴史から

核兵器禁止条約の発効は、核兵器廃絶への第一歩 19
原水禁運動の原点は被爆の実相、いまだあきらかになっていない被爆の実態 24
核兵器廃絶と被爆者救援は原水禁運動の両輪 29
「核と人類は共存できない」の深い意味 34
世界に広がった核被害者 39
裁判で勝ち取られた在外被爆者への『被爆者援護法』の適用 44
放置されたままの在朝被爆者、急がれる医療支援 49
「継続は力」――核実験抗議の座り込み 54
なぜ「国家補償」の『被爆者援護法』を求めるのか 59
平和利用に名を借りた原発政策と脱原発運動の歴史 64

労働組合の被爆者組織と被爆二世運動 69
原水禁運動の担い手はあなたです 74

原水禁運動の前史 79
広島への原発建設計画 84
被爆者と若い世代をつなぐ『原爆の図』展 87
「原爆絵画」展運動に取り組んで 89
歌「平和の火よ走れ」 91

『核廃絶をめざす これからの原水禁運動へのメッセージ』は、5人の方のお力添えでつくられました。「これからの原水禁運動へのメッセージ」(p 8～13)は2022年9月に開催された第10回「NPT再検討会議」をうけて執筆したものです。「核の脅威から逃れる道は核兵器の廃絶しかない」(p 14～18)は22年に始まったロシアによるウクライナ侵攻とその後の戦争のなかでのロシアのプーチン大統領による核兵器使用への言及をふまえて、『まなぶ』22年7月号に執筆したものです。19頁からはじまる「原水禁運動の歴史から」は『まなぶ』21年1月号から12月号に連載したものに加筆したものです。「原水禁運動の前史」「広島への原発建設計画」(p 79～83、p 84～86)は本書のための書き下ろしです。

各地での取り組みの報告は、「原爆絵画展」(埼玉・中島修氏)「原爆の図展」(東京・鹿倉泰祐氏)のお二人からいただきました。巻頭の詩は木村 和氏の労文叢書『広島風化詩・写真・記事』から転載させていただきました。写真は木村 和氏の叢書、『まなぶ』21年1月号～12月号に掲載した「ヒロシマのモニュメント」(撮影：甲村寿文氏)、2022年におこなわれた「反核平和の火リレー」の写真を平和友好祭実行委員会から、歌「平和の火よ走れ」は牛田紀之氏からご提供いただきました。記して感謝いたします。